

## 構造主義

### 2019 年本試

問 8 次の文章は、個人の自由をめぐる思想についての説明である。文章中の  ・  に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

私たちは日ごろ、自分は自由な個人で、したいことを主体的に選んで生きていると思っているが、 に代表される構造主義によれば、個々の言葉の使用が言語の構造に規定されるように、個人の意識や行為は社会の規則や構造に規定されている。さらに、構造主義から出発した に従えば、自由な個人とは、いわば社会制度に自ら服従する人間の別名にすぎない。だが、逆に言えば、個々人が自発的に服従してしまうからこそ、社会制度が力をもつのである。このように、 は、人間を規律化する制度や装置の発達に近代の特徴を見いだすとともに、服従を拒み、社会を変えていく力が人々の間に潜んでいることにも目を凝らす。自由な生への道は、決して絶たれていないのだ。

- ① a レヴィ＝ストロース      b メルロ＝ポンティ  
② a レヴィ＝ストロース      b フーコー  
③ a メルロ＝ポンティ      b レヴィ＝ストロース  
④ a メルロ＝ポンティ      b フーコー  
⑤ a フーコー      b レヴィ＝ストロース  
⑥ a フーコー      b メルロ＝ポンティ

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 8	8	②	3

2016 年追試

問 7 近代的理性観に対するフーコーの批判の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

35
----

- ① 近代のヨーロッパでは、人々は、理性的に行動しながら商品を購入し、そのことによって他者と異なる価値を手に行けると考えた。だが、実は、消費社会が生み出した差異化の原理に服従させられているにすぎない。
- ② 近代のヨーロッパでは、西洋的なものを理性的で先進的なものとし、東洋的なものとの差異を強調する思考の枠組みが生まれた。このような枠組みが、植民地支配を正当化し異文化理解を妨げてきた。
- ③ 近代のヨーロッパでは、人間は自立した理性的存在として一様に捉えられた。そして、この理性主義は人間を規格化する権力として働き、規格から外れるものに「狂気」のレッテルを貼り、封じ込めていった。
- ④ 近代のヨーロッパでは、人間は理性主義によって外なる自然の脅威から解放された。だが、感情や欲望などの内なる自然が抑圧されてしまったため、時にそれが反文明的現象として噴出し、「野蛮」に逆戻りしてしまう。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 7	35	③	3

2015 年本試

問7 構造主義の代表的思想家にレヴィ=ストロースがいる。次のア～ウのうち、彼の思想を正しく説明したものはどれか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑦のうちから一つ選べ。 

35
----

ア 西洋における科学技術文明の絶対化を批判し、「野生の思考」と科学的思考の間に優劣はないと主張した。

イ 理性的思考を言語の観点から考察し直し、言語活動は一定の規則に従う「言語ゲーム」であり、共同体において習得されるとした。

ウ 「未開社会」における親族や神話などの研究を通して、個人の主観的意識を超えたシステムが存在していることを見いだした。

① ア

② イ

③ ウ

④ アとイ

⑤ アとウ

⑥ イとウ

⑦ アとイとウ

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問7	35	⑤	3

2015 年追試

問 8 次の文章は、19 世紀の思想が 20 世紀に与えた影響の一例について述べたものである。□ a □～□ c □に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑨のうちから一つ選べ。 □ 36 □

20 世紀の思想に大きな影響を与えた 19 世紀の思想家の一人として、ニーチェが挙げられる。彼は、キリスト教の倫理観と結び付いた西洋の理想主義を、□ a □であるとし、批判した。彼によれば、理想主義を支えている善悪の区別は、自分よりも優れたものを憎悪する□ b □に基づいているのである。こうして、彼は、尊いものと考えられてきた人間性は、むしろ克服されるべき何かである、と考えるに至った。西洋の道徳的価値観や人間観をめぐって批判的な考察を行ったニーチェから影響を受けたのが、□ c □である。彼は、知や社会の構造に着目することで、人間の主体的な自由を賛美するヒューマニズムを批判し、さらに、従来の権力概念に変更を迫ることで、生のあり方を問い直した。

- ① a 存在忘却      b ルサンチマン      c サルトル
- ② a 存在忘却      b ルサンチマン      c フーコー
- ③ a 存在忘却      b ニヒリズム      c サルトル
- ④ a 存在忘却      b ニヒリズム      c フーコー
- ⑤ a 奴隷道徳      b ルサンチマン      c サルトル
- ⑥ a 奴隷道徳      b ルサンチマン      c フーコー
- ⑦ a 奴隷道徳      b ニヒリズム      c サルトル
- ⑨ a 奴隷道徳      b ニヒリズム      c フーコー

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 8	36	⑥	3

## 2014 年追試

問 9 自由な選択に関連して、フーコーは、「パノプティコン」を例にとって、近代社会における人間の主体性について考察した。次のフーコーの文章を読み、そこから読み取れる内容として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

パノプティコンとは、ベンサムが構想した監獄である。円状に獄舎が建てられ、その円の中心には監視塔がそびえる。円状の獄舎は独房に区分けされ、各房に囚人が配置されている。塔にいる監視者は独房の内部にいる囚人の様子を完全に見ることができるが、囚人が監視者を見ることは決してできない。このような状況において、見られる可能性がある状態に置かれ、その状態にあることを知っている者は、自らすすんで権力の拘束を受け入れ、自発的に規則に従うようになる。すなわち、権力の主体かつ対象という二役を同時に演じる関係を自分に組み込んで、自分から強制と服従の源になるのである。

(『監獄の誕生』より作成)

- ① 実際に監視者に見られていると確認できなくても、見られる可能性を知っていれば、囚人は監獄の規則に従うようになる。つまり、囚人は、規則にかなう行動を、自分で自分に強制する。
- ② 実際に監視者に見られていると確認できてはじめて、囚人は監獄の規則に従うようになる。つまり、監視者のみが、囚人に対して、規則にかなう行動を強制することができる。
- ③ 実際に <sup>だれ</sup>誰かに見られていなくても、見られる可能性を知っていれば、人は規則に従うようになる。つまり、囚人たちは、規則に従って行動することを、互いに強制し合う。
- ④ 実際に誰かに見られていることを知ってはじめて、人は規則に従うようになる。つまり、囚人は、監視者が自分を見ているか確かめながら行動することを、自分に強制する。

問7 次のア～ウは既存の枠組みを相対化する見方を示した思想家についての説明であるが、それぞれ誰<sup>だれ</sup>についての説明か。その組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 35

ア 真理、善、美などは、それが人間の生活において有用であるか否かによって決まり、具体的な状況における実践の結果に左右されるので、普遍的でも絶対的でもないとした。

イ 観察など研究活動の蓄積から理論が徐々に進歩していくという科学像に代えて、理論の枠組み(パラダイム)のなかではじめて研究活動は可能になり、その枠組みは時に革命的に変化するという科学像を示した。

ウ 個人の主観的意識を超えた構造として言語を捉え、自由で主体的にみえる人間の言語活動や思考も、そうした構造によって可能になっているとして、構造主義の成立に大きな影響を与えた。

- |           |         |         |
|-----------|---------|---------|
| ① ア ソシユール | イ ジェームズ | ウ クーン   |
| ② ア ソシユール | イ クーン   | ウ ジェームズ |
| ③ ア ジェームズ | イ ソシユール | ウ クーン   |
| ④ ア ジェームズ | イ クーン   | ウ ソシユール |
| ⑤ ア クーン   | イ ソシユール | ウ ジェームズ |
| ⑥ ア クーン   | イ ジェームズ | ウ ソシユール |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第1問	問9	9	①	3
第4問	問7	35	④	3

2011 年追試

問 1 自文化だけが優れたものと考え、他文化を劣ったものとする自民族・自文化中心主義に関して、次のア～ウは、近代西洋文明における自民族・自文化中心主義を批判した思想家であり、A～Cはその思想に関する記述である。これらの思想家とその思想の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 

31
----

- ア サイード
- イ レヴィ=ストロース
- ウ フーコー

- A 未開民族のもつ「野生の思考」には、文明人の科学的思考に少しも劣ることのない複雑な構造があることを明らかにし、西洋文明こそが優れており未開社会は野蛮で後れていると文化に優劣をつけることは間違いであり、諸文化は対等の価値をもつと主張した。
- B 近代以降の西洋文明社会は、人間理性を基準として、近代的秩序から逸脱するものを狂気、病気、犯罪といった「異常」とみなしてきたが、多様な人間や文化のあり方を、西洋近代の価値観を基準に序列化することには必ずしも根拠がなく、それが社会の監視や管理を強めてきたと批判した。
- C 近代西洋社会は、東洋を自分たちとは正反対の、後進的で神秘的な他者とみなすことで、自分たちは先進的で文明化されているという自己像を作り上げたとし、こうした西洋の東洋に対する思考方法を「オリエンタリズム」と呼び、それが西洋による植民地支配を正当化してきたと批判した。

- ① アーA    イーB    ウーC
- ② アーC    イーA    ウーB
- ③ アーB    イーC    ウーA
- ④ アーB    イーA    ウーC

⑤ アーC    イーB    ウーA

⑥ アーA    イーC    ウーB

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問1	31	②	3

2009 年本試

問 7 人間理性のあり方を批判的に検討した現代の思想家フーコーについての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 西洋哲学を成り立たせてきた主体などの概念が覆い隠してきた問題を，歴史のなかで新たに問うために脱構築を主張し，理性の概念を捉え直した。
- ② 理性と狂気とが区別されるようになってきた西洋の歴史を分析し，確固とした理性という考えが歴史の過程の産物であることを明らかにした。
- ③ 非西洋の未開社会の実地調査を通して，西洋社会とは異なる独自の思考体系を見いだし，西洋の理性的思考を特権化するような考えを <sup>しりぞ</sup> 斥けた。
- ④ 自己意識のなかに取りこめない他者性が現れる場を「顔」という言葉で表現し，そのような他者に向き合えない理性の暴力性に照明を当てた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 7	29	②	3

2004 年本試

問 1 文章中の  に入れるのに最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

フランスの思想家フーコーによれば，近代的理性は，非理性に対立するものとして現れて，  ・不道徳・病気などをすべて，自らの他者あるいは異質なものとして社会から排除し監禁した。そして，  を差別化する過程で，理性は自らを絶対的基準として確立した，というのである。

- ① 未開      ② 狂気      ③ 道化      ④ 無知

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 1	30	②	2

2003 年本試

問 4 19 世紀以降の西洋の思想家、レヴィ=ストロースの見解として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 

15
----

- ① 各人の多様な個性の発展は、社会が不断に進歩していくためにも重要であるから、個人の自由に対する社会的制約は、他者に危害が及ぶ場合に限りられるべきである。
- ② 世界の歴史とは、精神が人間の活動を媒介として、自らの本質である自由を自覚し実現していく必然的な進歩の過程である。この過程で自由な人間が次第に増えてくる。
- ③ 近代から現代までの西洋社会を振り返ってみると、文明の進歩は、私たち人類を真に人間らしい状態にではなく、むしろ新たな野蛮状態へ導いたと言わざるをえない。つまり進歩が退歩に逆転したのである。
- ④ 人間の精神は神学的、形而上学的、実証的という三段階を必ず通って進歩する。それに対応して、人間の社会もまた軍事的、法律的、産業的という三段階を通して進歩する。
- ⑤ 有機体の進歩が同質的なものから異質的なものへの変化であることに議論の余地はないが、このような変化は文明全体の歴史のうちにも各国民の歴史のうちにもひとしく見られる。
- ⑥ 停滞する未開社会と進歩する文明社会へと世界を二分し、後者が前者を支配し克服すべきだという従来のは西洋中心主義に基づく誤りである。未開社会の野生の思考と文明社会の科学的思考との間に価値の差はない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	15	⑥	2

2000 年追試

問 4 未開社会の思考についてのレヴィ-ストロースの見解として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

12
----

- ① 未開社会の思考は象徴による思考であり、その神話的思考は文明人の思考よりも遅れたものとみなされがちである。しかし、両者の優劣を論じることができず、それらは規則性を備えた一定の構造をもつという点では同じである。
- ② 未開社会の思考は象徴による思考であり、それが生みだした象形文字は、やがて英語などの近代語で用いられる文字へと発展していった。したがって、文明社会の思考様式も基本的には彼らのものと同じである。
- ③ 未開社会の思考は象徴による思考であり、我々が ひゆ 比喩 を使って出来事を表現するのに似ている。象徴も比喩も、あるものを別のもので表現するという点で同じであり、彼らの思考様式は基本的に我々のものと同じである。
- ④ 未開社会の思考は象徴による思考であり、脳の視覚野の発達を促した。他方、論理的思考を中心とする我々の科学的思考は脳の聴覚野の発達を促した。両者の違いは発達部分の違いにすぎず、脳の構造は同じである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	12	①	4